

事業評価票

355	東京ヘリポート航空灯火設備更新 (港湾局東京港管理事務所／一般会計)	事業開始	平成 28 年度
		事業終期	平成 32 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか	
<p>○ 東京ヘリポートは、昭和47年6月に設置された公共用ヘリポートであり、警視庁、東京消防庁航空隊をはじめ民間の航空会社18社が利用している国内最大のヘリポートである。</p> <p>○ 東京ヘリポートには、平成27年度実績で年間23,674回の離着陸実績があり、救急患者等人員の搬送、救助、救急用資器材の輸送や、報道取材など重要な活動を支えている。</p> <p>○ 東京ヘリポートにおいては、航空灯火設備を設置し、ヘリコプターの離着陸時の安全を確保している。</p>	
根拠法令等	航空法、東京都空港条例

2 どのように取り組み、どのような成果があったか	
<p>○ 航空灯火設備は、毎日の点灯確認により、安定的な運用を実施している。</p> <p>○ 航空灯火設備を良好な状態に維持するため、定期点検及び交換を行っている。点検において、不良箇所が判明した場合には、早急に修繕・交換等を実施している。</p>	

3 どのような課題や問題点があったか	
<p>○ 航空灯火設備（照明・発電設備）は、老朽化が進んでいることから、安定的な運用のため、早急に更新が必要な状況である。</p> <p>○ 照明設備は、白熱電球と高輝度放電灯が主体の設備で、球切れがあり効率もLEDに比べて悪い。また、消灯直後の高輝度放電灯は、高温で再点灯に時間がかかる。</p>	

4 局として、事業をどうしていきたいか																															
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																												
<p>○ 照明設備をLED化することで、球切れの回避、瞬時再点灯が可能となり、安全性の更なる向上を図るとともに、電気料金の縮減により、環境負荷を低減させる。</p> <p>≪航空灯火設備のLED化によるコスト効果(23年間)≫ (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">イニシャルコスト</th> <th colspan="2">ランニングコスト</th> <th rowspan="2">総額</th> </tr> <tr> <th>機器更新</th> <th></th> <th>光熱水費</th> <th>ランプ交換</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LED照明</td> <td>551,000</td> <td></td> <td>11,285</td> <td>0</td> <td>562,285</td> </tr> <tr> <td>既存照明設備</td> <td>528,000</td> <td></td> <td>23,162</td> <td>11,500</td> <td>562,662</td> </tr> <tr> <td>増(△)減</td> <td>23,000</td> <td></td> <td>△ 11,877</td> <td>△ 11,500</td> <td>△ 377</td> </tr> </tbody> </table> <p>ランプ交換: LEDは25年に1度交換、既存は各ランプの平均更新経費により算出。</p>					イニシャルコスト		ランニングコスト		総額	機器更新		光熱水費	ランプ交換	LED照明	551,000		11,285	0	562,285	既存照明設備	528,000		23,162	11,500	562,662	増(△)減	23,000		△ 11,877	△ 11,500	△ 377
	イニシャルコスト		ランニングコスト		総額																										
	機器更新		光熱水費	ランプ交換																											
LED照明	551,000		11,285	0	562,285																										
既存照明設備	528,000		23,162	11,500	562,662																										
増(△)減	23,000		△ 11,877	△ 11,500	△ 377																										
歳入	27年度決算額	— 千円	歳出	27年度決算額	— 千円																										
	28年度予算額	— 千円		28年度予算額	25,000 千円																										
	29年度見積額	— 千円		29年度見積額	20,000 千円																										

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか	
<p>○ 航空灯火設備は、ヘリポートの運用上欠かせない設備であり、安定的な運用のためには定格寿命が長く、交換頻度が少ないLED照明へ交換することは妥当である。</p> <p>○ 機器更新に係る経費はLED照明の方が割高となるが、光熱水費等が縮減されることにより、設置から23年目には経費縮減が図られる見込みとなっている。</p>	

6 29年度予算で、どのように対応したか			
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
<p>○ LED照明に交換することにより、トータルコストの縮減が見込まれるほか、交換回数減少による維持管理の効率化が図られることから、見積額のとおり計上する。</p>			
歳入	29年度予算額	— 千円	
歳出	29年度予算額	20,000 千円	